

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P6 今月もさまざまなセミナーをご用意して皆さまをお待ちしています



「堀場製作所の社員の皆さんとの対話」

先般、コモンズ30ファンドのスタート当初から投資をさせていただいている堀場製作所さんからの依頼で、社内IRのための講演に京都本社を伺いました。社内IR?と思われる方もいると思いますが(通常IRは、投資家向け広報とされます)、同社では決算説明会を半期ごとに社内向けにも行っています。多くの企業では、アナリストや投資家には積極的に経営状況や業績動向の説明をしていますが、社内の方々にはあまり説明されていないといわれます。当日は、自主参加とのことでしたが、業務時間終了後にもかかわらず、広い会場が満席となる参加状況で、京都以外の工場などにもライブで配信されました。

第一部はIR担当の方から決算説明が行われ、第二部で私から、「長期的に進化を続ける企業とは」をテーマに、グローバル経済の状況や日本企業の取り組み、そして、同社に投資している理由を説明させていただきました。コモンズの場合は、財務情報以外に非財務



事業ポートフォリオの変化、人事・人材育成、そして同社の社是でもある「おもしろ おかしく」についてコモンズ流

渋澤と伊井の「今月の想い」

の見方を説明させていただきました。また、グローバル企業の代表例としてGEの事業モデルや企業理念を紹介することで、今後の期待も述べさせていただきました。

決算の状況、中期経営計画などをこうして社内の方々に共有していくことに、労をいとわない企業には、本当にいい会社が多いです。特にグローバルな展開が進んでいる現在、会社全体の事はそれぞれの現場の社員の方々には見えにくくなってきています。スチュワードシップコードでも対話を求められていますが、コモンズは創業時よりこうした対話を大切にしています。

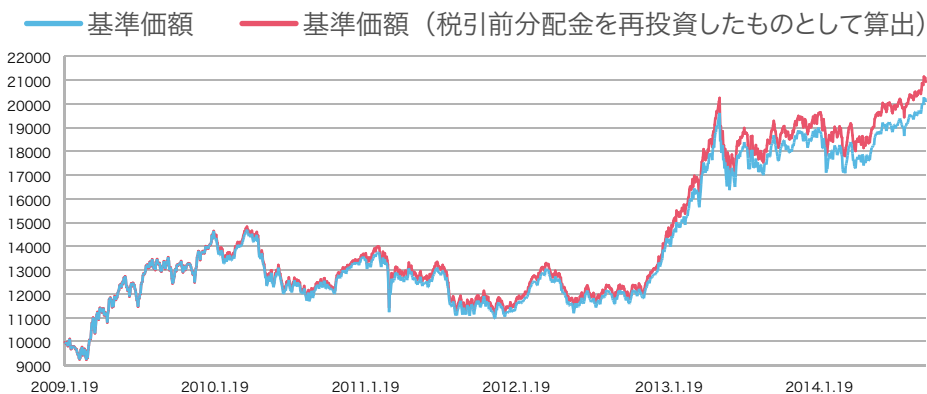
今後、対話ということでは、構造改革中のベネッセホールディングに対し、こどもトラストを利用しているお客さまを中心に、皆さまとの対話の機会も作っていきたく考えています。投資委員会の中でもさまざまな角度から活発な議論を続けています。厳しい意見も温かい意見もあります。お客さまも同様だと思っています。コモンズ流の「対話」、今後もご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井哲朗

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

■ 基準価額の推移



■ ファンドのデータ

(2014年9月30日付)

基準価額	20,070円
純資産総額	4,923百万円
受益権総口数	2,452百万口

※純資産総額のグラフは7ページ参照

■ 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2014年9月30日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.78%	5.85%	10.17%	10.80%	78.22%	109.25%

■ 直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)
120円	130円	0円	200円	200円

■ 投資行動とパフォーマンス(組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります)

◎9月の組入れ銘柄(組入れ銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

9月末の組入れ銘柄は、1銘柄減少して28銘柄となりました。「30ファンド投資委員会」において、運用部は全売却候補2銘柄と新規買付候補2銘柄を提案しました。活発な議論の結果、全売却候補である「エア・ウォーター」の全売却が承認されました。新規売却候補1銘柄については、委員会メンバー全員のコンセンサスを得られないため継続審議となっています。新規買付候補2銘柄についても同様に次回の投資委員会で継続審議する予定です。

◎9月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

9月末の株式組入比率は94.1%となりました。残り6%程度はキャッシュを持っています。初旬は95%前後で推移しており、9月9日の「エア・ウォーター」全売却により一時90%台となりましたが、その後は月末にかけて緩やかに94%まで引き上げました。

◎9月の組入上位10社と投資行動

新規にトップ10に入った銘柄は、「ディスコ」、「SMC」、「信越化学工業」、「セブン&アイ・ホールディングス」の4社です。主な投資行動としては、「エア・ウォーター」を全売却し、組入比率3.3%以下となった銘柄を中心に買い増しました。

◎9月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

9月のファンド月間リターンは3.78%の上昇となりました。参考指標として、同月のTOPIXは3.78%上昇しています。ファンドの月間リターンがTOPIXと同水準となった要因として、「クボタ」などはTOPIXを上回るリターンとなった一方、「セブン&アイ・ホールディングス」などがTOPIXを下回るリターンとなったことなどによるものです。なお9月末で投資している28銘柄の内、月次株価騰落率がプラスとなったのは18銘柄、マイナスとなったのは10銘柄です。

◎運用・調査体制について

是非、8ページ目をご確認下さい。

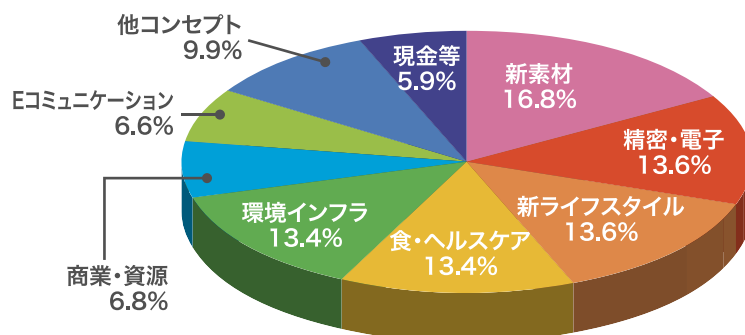
運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式	94.1%	▲1.0%
現金等	5.9%	+1.0%
構成銘柄	28社	▲1社

未来コンセプト別構成比

(2014年9月30日付)



※未来コンセプトは全10種類。詳細は8ページ参照

組入上位10社

(2014年9月30日付)

企業名 [コード]	未来コンセプト	概要
クボタ [6326]	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
ユニ・チャーム [8113]	食・ヘルスケア	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
シスメックス [6869]	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
ディスコ [6146]	精密・電子	半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなど製造しています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」などディスコバリューで、自社の経営体制も磨き続けています。
日東電工 [6988]	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
SMC [6273]	精密・電子	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップです。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長しています。
信越化学工業 [4063]	新素材	収益に対する執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
旭化成 [3407]	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
セブン&アイ [3382]	新ライフスタイル	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」という感じです。

新規組入投資先

なし

今月のピック!

「エア・ウォーター」を全売却しました。理由として、私たちが重視する5つの軸のうち「マネジメント」、「ガバナンス」、などを懸念したからです。

コモンズでは、2011年7月に、30ファンドに同社を新規に組み入れました。国内M&Aによって事業分散を図りながら不況期にも強い経営を目指しており、哺乳類で最も繁栄した「ねずみ」のような特徴を持つ経営モデルに共感したからです。日本の社会的課題である中小企業問題のソリューションにもなるのではないかと期待しました。

同社の成長を牽引する青木弘代表取締役会長CEO・最高経営責任者は、リーダーシップがあり、M&Aへの嗅覚を持つトップです。ただ、同社株をさらに中長期で保有していくうえでは、青木会長の高齢(1928年生まれ)は大きなリスクと考えます。青木会長の経営哲学およびM&Aのノウハウが社内に浸透し、十分に受け継がれているかどうかは鍵となりますが、私たちにはその確信が持てない状況です。

加えて、国内景気の回復局面が続く場合、買収価格の上昇などで、M&Aの拡大戦略に支障が出てくるのではないかと心配しています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	企業名	ニュース
9月2日	マキタ	電動工具大手のマキタはタイで草刈り機など園芸機器の生産を始めました。既存の電動工具の工場を活用し、東南アジア市場などに供給します。同社は3月末に園芸機器の主力拠点の沼津工場(静岡県沼津市)を閉鎖し、生産体制を再構築しています。海外生産の強化でコスト競争力と供給力を高め、現在は1割にも満たない世界シェアを中長期で2割に伸ばす予定です。
9月5日	クボタ	10月から順次欧米で実施される新しい排出ガス規制に対応したディーゼルエンジンを開発し、適合認証を取得したと9月3日発表しました。新規制では排ガスに含まれる窒素酸化物(NOX)の量を9割近く削減する必要があり、触媒でNOXを無害な窒素と水に分解する装置をエンジンに搭載しました。10月から堺製造所(堺市)で新型エンジンを量産、自社のトラクターなどと搭載するほか、世界の建機・産業機械メーカーなどに外販する予定です。
9月9日	楽天	楽天は9月9日、インターネット通販関連サイトを運営する米イーベイツ(サンフランシスコ市)を買収すると正式に発表しました。買収額は約10億ドル(約1,050億円)。楽天の国内販売総額は年間約1.7兆円にのぼりますが、海外は約1千億円にとどまっています。米アマゾン・ドット・コムや米イーベイなどネット通販大手と提携するイーベイツを取り込み、手薄な海外展開の拡大を急ぐ考えです。
9月9日	エーザイ	米国で販売している肥満症治療薬の現地営業担当者を5割増やし、600人体制にしました。同社の肥満薬は食欲を抑える効果があります。
9月11日	味の素	9月10日、米冷凍食品メーカー、ウインザー・クオリティ・ホールディングス(テキサス州)を買収すると発表しました。買収額は約840億円と味の素として過去最大となります。米社の販路を生かし、「和食」を武器に4兆円と巨大な米冷食市場を攻略します。「新興国開拓の雄」とされる味の素ですが、食品世界トップ10入りをにらみ出遅れた先進国に攻め込む考えです。
9月12日	三菱商事	アフリカ西部で大規模油田開発に乗り出します。日本企業としてコートジボワールで初の油田探鉱権を取得、2019年から米石油大手などと原油生産を始める予定です。総事業費は8千億円に達する見通しで、日本は原油輸入の8割超を中東に依存しているが、世界の原油生産で1割を占めるまでになったアフリカにも本格進出し、エネルギーの安定調達につなげます。
9月18日	セブン&アイHD	セブン&アイ・ホールディングスの2014年3~8月期は、本業のもうけを示す連結営業利益が前年同期に比べ2%増の1,670億円強になったようです。3%増の1,700億円という従来予想には届かないものの、上半期として2年連続で過去最高を更新しました。消費税増税や天候不順によるスーパーの苦戦を主力のコンビニエンスストアの好調で補いました。
9月24日	資生堂	資生堂は2015年3月期、設備や建物など有形固定資産の減価償却方法の見直しが約9億円の営業増益要因になりそうです。従来は国内は定率法、海外は定額法としていたが、定額法に一歩化します。将来のIFRS(国際会計基準)導入も視野に、グループ全体で会計処理方法をそろえる考えです。
9月26日	ベネッセホールディングス	小淵優子経済産業相は9月26日の記者会見で、ベネッセコーポレーションで大量の顧客情報が漏洩した問題を受け、同社に勧告処分を下すと発表しました。個人情報保護法に基づいた処分。個人情報の保護体制を明確化するなどの対策を求めます。

メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
9月1日	日経CNBC	日経CNBC「ヴェリタストーク」に会長渋谷が出演し、マーケットについてコメントしました
9月1日	Good Way	コモンズ30塾スペシャル「アフリカの成長を担う女性の活躍」を紹介いただきました
9月7日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「草食系」長期投資家が熱いと題し渋谷が寄稿しました
9月16日	日経電子版	「マネー底流潮流 日本株、薄れる円安の神通力」に伊井がコメントしました
9月14日	日経ヴェリタス	渋谷健の愛と資本主義に『「失望の最小化」より「希望の最大化」』と題し寄稿しました
9月22日	時事ドットコム	「年明け1万7500円へ」と題し、伊井が記事を寄稿しました
9月22日	日経CNBC	「マーケットコロンブス」に糸島が出演し、マーケットについてコメントしました
9月24日	日経新聞	朝刊21面M&Iにて「子供NISAで孫に資金」の中でこどもトラストが取り上げられました
9月24日	日経ビジネス	「いよいよ広がる脱TOPIX」の記事の中でコモンズ30ファンドが紹介されました
9月26日	日経新聞	夕刊2面「ぱーそん」にて草食投資隊や渋谷が取り上げられました
9月28日	日経電子版	「子供NISAが描く長期株高 教育・相続を味方に」でこどもトラストが取り上げられました

今週末開催! 第6回フォーラムに「サラリーマン・ソーシャルベンチャー」水野氏が登場!

今までは30代の登壇者が主流だったコモンズ社会起業家フォーラム。今年はサラリーマン・ソーシャルベンチャーの代表格として、マラリア・ノーモア・ジャパンの水野達男氏(59歳)にご登壇いただきます! <http://www.mnmj.asia/>

マラリアによって命を落とす人は年間約65万人。犠牲者の8割が貧困国の5歳以下の子どもたち。ほぼ1分に1人の子どもがマラリアで亡くなっている現実があります。また、アフリカでのマラリアによる経済損失は、1兆2,000億円と言われていいます。水野氏が専務理事を務めるマラリア・ノーモア・ジャパンは、「マラリアのない世界を創る」ことを使命とした日本で唯一のマラリアに特化したNPOです。

住友化学で蚊帳の普及事業に関わった水野氏は、アフリカでの現場経験から、現地でのマラリア予防対策の更なる普及活動が必要と実感したそうです。そして現在は、NPO法人の立場から、国内外を飛び回り、支援事業、啓発事業に携わっています。「アフリカは遠く、マラリアも遠い国のことと誤ってしまいがちの我々ですが、これから様々な国々との人の出入りが活発になり、関係のないことではなくなってきます。次の世代にバトンを渡すにあたって、人々に「我がコト観」を持ってこの問題に関わってほしい。そのための活動に必要なヒントを、今回のフォーラムで若い仲間たちから得られたら」と、水野氏はフォーラム参加に対する抱負を語ってくださいました。どうぞ、水野氏の7分間メッセージをお楽しみに! フォーラムの残席僅かです!

詳細はこちらからどうぞ <http://www.common30.jp/seminars/detail/5>



マーケティング部 馬越 裕子

セミナーでコモンズを体験しませんか!?

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ	10月22日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月1日(土)	14:00~16:00	
はじめてのコモンズ~投資ビギナーズ編~	10月22日(水)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	10月29日(水)	19:00~20:30	東京都文京区(ワークスペースAlbo)
くつろぎBAR	10月15日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月19日(水)		
「ザ・2020ビジョン」セミナー	10月2日(木)	10:00~11:30	神戸市中央区(plugin078 スタジオA)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (フォーラムの部)	10月4日(土)	14:30~17:00	東京都千代田区 (日比谷図書文化館内)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (懇親会の部)		17:00~18:45	
「ザ・2020ビジョン」 運用報告&マーケット見通し	10月8日(水)	13:30~15:00	東京都豊島区 (マイスペース MS&BB池袋西武横店)
		19:00~20:30	東京都中央区 (貸会議室プラザ 八重洲北口)
	10月13日(月・祝)	10:00~11:30	大阪府大阪市 (AP大阪梅田茶屋町)
		15:00~16:30	愛知県名古屋市(ウインクあいち)
こどもトラストセミナー	10月18日(土)	13:30~15:30	IID 世田谷ものづくり学校
渋澤健 出版セミナー	11月7日(金)	19:00~20:30	福岡県福岡市(福岡ビル)
「企業との対話」ワークショップ	11月17日(月)	19:00~21:00	東京都千代田区(21C クラブ)

お知らせ:2014年7-9月期の運用報告会の動画配信を10月10日ごろより予定しております。詳しくはHPよりご確認ください。

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

■ 今月のコモンズは!

皆さま、こんにちは! 今月もコモンズレターをお読みいただきありがとうございます。コモンズ投信のセミナーにこの秋から2つの新しいスタイルが加わりました!

- ・こどもが小さくて自分ひとりでは外出できないけれど、こどもの教育資金や将来の資産づくりについて知りたい
- ・金融セミナーがどんなものかまずはひとりでこっそり見てみたい

そんな声にお応えして【視聴する場所を選ばないWEBセミナー】と【小さなお客さまも大歓迎☆お子さま連れOKセミナー】をお届けすることになりました。2つの新しい試みは第1回目を終え、ご参加の皆さんに「こんなセミナーを待っていた!」と大変うれしい感想をいただきました。

セミナーになかなか来られない人、今本当に資産づくりの知識を必要としている人たちにこそ、コモンズ投信と長期の積立投資による資産づくりについてよく知っていただきたいので、これからもそんな皆さまのためのセミナーをどんどんお届けしていきたいと思えます!

第1回目のWEBセミナーの録画はこちらからどうぞ

<http://ondemand.seminar.vcube.com/ondemand/v/7dec8b03a450b6316791a53df92764c5dbe17425>

マーケティング部 横山 玲子

■ お客さまの声

セミナー参加者からコモンズへいただいたメッセージをご紹介します。

参加セミナー：はじめてのコモンズ



すべてに初めてでしたが、私にでも投資信託が少しづつでもできると思え、とても嬉しいです。初めの一歩、何卒宜しくお願い致します。

とても丁寧に説明いただき、あらためてコモンズ30の魅力が良く理解できました。2020ビジョンも検討させていただきたいと思えます。またイベント等に参加させていただければと思います。



わからなかった点など、非常にクリアになり、勉強になりました。なかなか本質的なポイントをうかがう機会がなかったため、今後にかかしていきたいと存じます。

参加セミナー：自分の手元から始める豊かな未来への投資～渋澤健と一緒に考える2020vision～



面白く、わかりやすく、想いのある投資のお話でした。

直接お会いし、お話が聞ける貴重な機会と思い参加しました。渋澤さんの愛ある話が良かったです。ささやかでも継続しようと思えます。



参加セミナー：はじめてのコモンズ～投資ビギナーズ編～



株に興味がありながらなかなか一歩が踏み出せなかったため、今回のお話は非常にためになりました。また機会があれば是非参加したいと思いますので、よろしくお願ひします。

■ お客さまのデータ

(2014年9月30日付)

顧客数	4567人	(+63)
うち積立	2791人	(+24)

()内は前月比

■ 純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋谷 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時) 03-3221-8730	■メール commons-call@commons30.jp
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2061 号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		